

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191300070		
法人名	ジンフィールド株式会社		
事業所名	グループホーム シニアライフ三日月		
所在地	小城市三日月町織島4773-1		
自己評価作成日	令和3年 6月 15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和3年8月25日	外部評価確定日	令和3年9月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>「今を楽しく家族に安心を、地域とともに手をつなぎ、輪を持って喜びを分かち合おう」を理念に掲げ、スタッフ一丸となって、心をこめて、笑い声、笑顔の絶えない介護をさせていただきます。自慢の広い中庭を活かし、入居者様の外気浴や食事をしたり、又年1回、ご家族様、地域の方を招き催しを行い、楽しい時間を過ごされています。入居者様、ご家族様が安心して頂けるようなグループホーム作り、そして職員には企業理念をもとに、人として 社員として社としてジンフィールドに勤めて良かったと思える場を提供します。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>主要道路より少し入った静かな地域にグループホーム1号棟、2号棟が併設して建っている。広い中庭には芝生が敷かれ周りには季節の花が咲いている自然豊かな環境である。社名は「仁徳」から来ており、社員の自己成長を実践する場という意味が込められている。職員が笑顔でいる事が入居者の笑顔に繋がるとの思いは、管理者はじめ職員間で共有している。入居者本位のケアを心掛け日頃の様子や健康状態の観察を行い、主治医往診や歯科、皮膚科の往診もあり、医療連携も図る事が出来る本人や家族にとっても安心して生活出来る施設である。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼の申し送りで理念を唱和し共有、理解し実践を行っている。	毎朝の朝礼の申し送りで理念を唱和し共有、理解し実践を行っている。	理念は法人開設時考えられ全事業所統一している。毎日朝礼時と午後の2回唱和し職員間で共有・理解に努めている。理念の他に棟目標があり、1号棟2号棟各職員で考えた棟目標を掲げ、半期後評価する等働きやすい職場環境への取り組みを実践している。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	敬老会、オレンジカフェを開催し地域の方の参加を集い交流を行っている。 ※コロナ禍の為中止	敬老会、オレンジカフェを開催し地域の方の参加を集い交流を行っている。 ※コロナ禍の為中止	地域自治会への入会はないが、コロナ禍以前は敬老会への招待やオレンジカフェの取り組み等地域との交流を図っていた。新型コロナウイルス感染症が終息した際は、以前の様に施設前の芝生広場で行事を行い、家族や地域の方を招待して交流を図りたいと希望している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域貢献の一環としてオレンジカフェの開催、中学生の職場体験の受け入れを行っている。 ※コロナ禍の為中止	地域貢献の一環としてオレンジカフェの開催、中学生の職場体験の受け入れを行っている。 ※コロナ禍の為中止	/	/	
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回(年6回)運営推進会議を行っている。地域包括支援センター様、自治会長、ご家族様に出席していただき意見交換を行い運営の改善、向上を目指している。	2か月に1回(年6回)運営推進会議を行っている。地域包括支援センター様、自治会長、ご家族様に出席していただき意見交換を行い運営の改善、向上を目指している。	コロナ禍の為運営推進委員会は自粛しており、管理者やホーム長等少人数での会議を実施している。外部の運営推進委員へは文書で報告し、意見交換を行い、議事録は誰でも閲覧出来るよう玄関に準備されている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターに入居状況の報告を行ったり、包括主催の勉強会への参加など行っている。	地域包括支援センターに入居状況の報告を行ったり、包括主催の勉強会への参加など行っている。	地域包括支援センター職員が運営推進委員に在る為、地域包括支援センター主催の勉強会への参加や、市からの情報は随時事業所へ届くようになっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束等の適正化のための指針に基づき、ミーティング時に時間を設け研修会を行っている。	身体拘束等の適正化のための指針に基づき、ミーティング時に時間を設け研修会を行っている。	コロナ禍以前は管理者が身体拘束に関する外部研修へ参加していたが、現在は年2回ミーティング時資料を使って身体拘束についての勉強会を行っている。日中の玄関や各居室の施錠も行われていない。言葉の拘束についてアンケートを取った事があり、不適切な言葉等振り返りが出来、不適切な言葉が聞かれた際にはその場の指導にも活かされている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に関催される高齢者虐待の勉強会に参加。学び周知徹底に努めている。	定期的に関催される高齢者虐待の勉強会に参加。学び周知徹底に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は勉強会で学び、小城市福祉課の調査時などの話し合いの場を設け活用できるよう支援している。	職員は勉強会で学び、小城市福祉課の調査時などの話し合いの場を設け活用できるよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際はご家族に詳しく説明を行い、同意を頂いている。改定時には都度説明、文書にて通知をする事で理解を得ている。	契約の際はご家族に詳しく説明を行い、同意を頂いている。改定時には都度説明、文書にて通知をする事で理解を得ている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置。面会時や電話にて要望や改善すべき点について話し合い、問題あれば改善行い説明や気軽に話かけていただけるとような信頼関係構築に励んでいる。	玄関に意見箱を設置。面会時や電話にて要望や改善すべき点について話し合い、問題あれば改善行い説明や気軽に話かけていただけるとような信頼関係構築に励んでいる。	意見箱の設置はあるが今まで意見が入っていた事は無い。家族との電話や面会時に会話を多く持ち信頼関係を築くよう努め、家族の意見を聞く事が出来るよう心掛けている。コロナ禍の為ビニールシート越しの面会を実施しているが、今後はオンライン面会等も検討している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は年2回、個人面談の時間を設けている。問題がある場合はホーム長も加わり問題解決に取り組んでいる。	管理者は年2回、個人面談の時間を設けている。問題がある場合はホーム長も加わり問題解決に取り組んでいる。	管理者は年2回全職員と面談し希望や意見等聞き取り、上司への報告や改善出来る点は改善する等、働きやすい職場環境作りを努めている。個人目標の設定・評価や、勉強会の参加に対して特別賞与が支給される等、各職員の意欲や働き甲斐に繋がっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は年2回の職員評価を行い代表者に提出。職場環境、条件の整備に努めている。	管理者は年2回の職員評価を行い代表者に提出。職場環境、条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得者の勉強できる機会を与え、勤務はローテーション制で必要な時取りやすい職場環境に取り組んでいる。	資格取得者の勉強できる機会を与え、勤務はローテーション制で必要な時取りやすい職場環境に取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全社グループの月1回の勉強会に参加し、グループ内での研修会にて施設取り組みの発表をおこなっている。	全社グループの月1回の勉強会に参加し、グループ内での研修会にて施設取り組みの発表をおこなっている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA()	自己評価／ユニットB()	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の立場にたち、話を傾聴し思いをくみ取り共感し安心して暮らして頂ける生活環境を整えていけるよう努力している。	ご本人の立場にたち、話を傾聴し思いをくみ取り共感し安心して暮らして頂ける生活環境を整えていけるよう努力している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人様、ご家族様が困っている事などを聞き、精神的に安心して頂ける関わりに努め希望や要望を受け止め、可能な限り出来る対応で信頼して頂けるよう努めている。	本人様、ご家族様が困っている事などを聞き、精神的に安心して頂ける関わりに努め希望や要望を受け止め、可能な限り出来る対応で信頼して頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	新規アセスメントや入居前の実態調査を行い、必要な支援を検討し、ご家族様の同意を頂いている。	新規アセスメントや入居前の実態調査を行い、必要な支援を検討し、ご家族様の同意を頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人様の意見や意向を十分に尊重し、対等でそして人生の先輩として尊敬し安心して共同生活が出来るように支援している。	本人様の意見や意向を十分に尊重し、対等でそして人生の先輩として尊敬し安心して共同生活が出来るように支援している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、ご家族様に生活状況を送付し、施設での生活状況をお知らせし、情報の共有を行い、ご家族様との絆を大切にしながら共に本人様を支えていく関係を築いている。	毎月、ご家族様に生活状況を送付し、施設での生活状況をお知らせし、情報の共有を行い、ご家族様との絆を大切にしながら共に本人様を支えていく関係を築いている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様の思い出の場所や関係が深い場所など事前に聞き取りをし、職員で周知。話題の提供などで思い出していただいている。ご友人の面会も次回面会に繋がるよう心掛けている。	本人様の思い出の場所や関係が深い場所など事前に聞き取りをし、職員で周知。話題の提供などで思い出していただいている。ご友人の面会も次回面会に繋がるよう心掛けている。	コロナ禍以前は馴染みの美容室を利用して頂く等、関係を継続出来るよう支援していたが、現在は普通の会話の中で話題にする事で思い出して頂けるよう、コミュニケーションに努めている。外出や訪問がままならず毎月のグループホーム便りで生活状況を報告している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	誕生会やレクリエーション、施設行事を通じて入居者様同士の交流を深められるよう努めている。	誕生会やレクリエーション、施設行事を通じて入居者様同士の交流を深められるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じ相談、支援できる体制作りを行っている。ご入院された方との関わりも続いている。	必要に応じ相談、支援できる体制作りを行っている。ご入院された方との関わりも続いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的に各担当者、計画作成者が要望を伺い、意思疎通が難しい入居者様は日々の表情、仕草から思いをくみ取り、ミーティングにて本人様本位のケアを検討している。	定期的に各担当者、計画作成者が要望を伺い、意思疎通が難しい入居者様は日々の表情、仕草から思いをくみ取り、ミーティングにて本人様本位のケアを検討している。	担当者が入居者の日頃のコミュニケーションの中から思いを汲み取るよう心掛けている。担当者が気付いた事は申し送りノートに記入し、職員間で共有し、実践する等本人様本位のケアを心掛けている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の事態調査やご家族様やご本人様からの情報収集を行い、生活歴を把握し施設での安心した生活に役立てている。	入居前の事態調査やご家族様やご本人様からの情報収集を行い、生活歴を把握し施設での安心した生活に役立てている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人ひとりの1日の過ごし方や心身の状態を毎日の申し送りで職員全体で共有し、現状の把握に努めている。	入居者様一人ひとりの1日の過ごし方や心身の状態を毎日の申し送りで職員全体で共有し、現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	事前評価やモニタリングを行い、担当者にてカンファレンスを通じ状態に応じた介護計画を立てている。	事前評価やモニタリングを行い、担当者にてカンファレンスを通じ状態に応じた介護計画を立てている。	各担当者が普段の生活状況や家族からの意向を確認し、ケアマネジャーや職員で本人様本位のケアプランを作成している。毎月のモニタリングはケアマネジャーが行いケアプランが適切に実行されているか確認しており必要に応じた介護計画がなされている。	介護計画実施日には家族のケアプラン承諾が必要である。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各自のバイタル、食事量、水分量、排泄状況、体調変化を記録し、その日の変化や気づきを職員間で情報共有して改善すべき点や、本人様の状況に応じて話し合い、介護計画の見直しに活かしている。	各自のバイタル、食事量、水分量、排泄状況、体調変化を記録し、その日の変化や気づきを職員間で情報共有して改善すべき点や、本人様の状況に応じて話し合い、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様、ご家族様の希望や要望を話し合いながら柔軟な支援サービスが提供できるよう努めている。	ご本人様、ご家族様の希望や要望を話し合いながら柔軟な支援サービスが提供できるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議、オレンジカフェを利用し、情報を得て活用し地域の方々の参加で交流を深め楽しむことが出来るよう支援している。	運営推進会議、オレンジカフェを利用し、情報を得て活用し地域の方々の参加で交流を深め楽しむことが出来るよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	協力医療機関以外にも本人様が馴染 みとされている医療機関も大事にし、 受診できる体制を整えている。 月2回の訪問診療に加え、皮膚科訪問、 歯科訪問を受けている。	協力医療機関以外にも本人様が馴染 みとされている医療機関も大事にし、 受診できる体制を整えている。 月2回の訪問診療に加え、皮膚科訪問、 歯科訪問を受けている。	施設入居の際主治医変更について 急変時の対応等説明を行い、変更 を依頼、入居以前の主治医を希望 される場合は定期受診等原則家族 付き添いになるが、夜間の対応等 がある為、施設医師に照会を受け る。主治医往診は月2回、皮膚科、 歯科往診もあり、適切な医療を受け る事が出来ている。他科受診は原 則家族付き添いだが、有料で職員 が対応する事も出来る。薬の管理 は確実な服薬の為薬局が行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪 問看護師等に伝えて相談し、個々の利用 者が適切な受診や看護を受けられるよう に支援している	一人一人の状態を観察し些細な点 でも看護師に報告し適切な指示を 仰いでおり、必要時は医療機関に 受診を行っている。	一人一人の状態を観察し些細な点 でも看護師に報告し適切な指示を 仰いでおり、必要時は医療機関に 受診を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。又は、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は医療機関に十分な情報提供 を行い、適切な治療を受けられる ように面会し、医療機関と連携を 図っている。	入院時は医療機関に十分な情報提供 を行い、適切な治療を受けられる ように面会し医療機関と連携を 図っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	事前にご家族様には終末期につ いて話し合い、ご家族の要望など考慮 し、医療機関と看護師とご家族様、 施設職員を交え終末期に向けての 体制作りに取り組んでいる。	事前にご家族様には終末期につ いて話し合い、ご家族の要望など考慮 し、医療機関と看護師とご家族様、 施設職員を交え終末期に向けての 体制作りに取り組んでいる。	入居時重度化した際や終末期につ いて本人、家族、医療機関、施設職 員を交え事前に検討している。現管 理者は看取りの経験はないが、施 設開所より20年近くなる為以前2回 程看取りをされた事がある。医療が 必要になられた入居者や状態変化 時には適切な病院や施設へ支援を 行っている。終末期の入院時期に ついては管理者が判断している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時の対応を日ごろより周知し合い、またマニュアルや手引きなどを目に付く場所に掲示している。	急変や事故発生時の対応を日ごろより周知し合い、またマニュアルや手引きなどを目に付く場所に掲示している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間火災を想定した避難訓練や風水被害を想定した避難マニュアルを作成しており、避難場所についても事前に調査スタッフに周知徹底を行っている。	夜間火災を想定した避難訓練や風水被害を想定した避難マニュアルを作成しており、避難場所についても事前に調査スタッフに周知徹底を行っている。	年2回夜間想定消防訓練を行っている。内1回は消防署立ち合いで行い避難場所の確認も出来ている。職員は消火器の使用方法の訓練を受け、非常食、飲水の備蓄は本部に準備、事前に受け取っている。電話での非常連絡網の整備や実際暗い中での消防訓練、地域住民の参加等も今後検討予定である。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者に対し使ってはいけない言葉を徹底している。また個人情報についての勉強会にも定期的に参加し十分に理解する事で周知徹底を図っている。	利用者に対し使ってはいけない言葉を徹底している。また個人情報についての勉強会にも定期的に参加し十分に理解する事で周知徹底を図っている。	日頃の生活状況報告の為にグループホーム便りを発行しており、写真使用等個人情報の取り扱いについて家族より了承を得ている。個人尊重の観点から言葉かけには十分気を付けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で本人が自己決定できるように配慮している。食事、入浴、排泄、外出など可能なかぎり本人の思いに沿った支援を心掛けている。	日常生活の中で本人が自己決定できるように配慮している。食事、入浴、排泄、外出など可能なかぎり本人の思いに沿った支援を心掛けている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	集団生活におけるルールを大切にしながら、あくまでもご本人のペースを尊重し、希望に沿った支援を行っている。	集団生活におけるルールを大切にしながら、あくまでもご本人のペースを尊重し、希望に沿った支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の整容は必ず行い、1日を気持ちよくスタートして頂けるようにしている。入浴の際も本人の希望にそって衣類を準備している。	朝の整容は必ず行い、1日を気持ちよくスタートして頂けるようにしている。入浴の際も本人の希望にそって衣類を準備している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者に応じた食事形態で提供し、食事を楽しめるよう、メニューの紹介を行っている。食後は職員と一緒に食器拭きなどを行いながら会話を楽しんでいる。	入居者に応じた食事形態で提供し、食事を楽しめるよう、メニューの紹介を行っている。食後は職員と一緒に食器拭きなどを行いながら会話を楽しんでいる。	食事メニューは給食部の管理栄養士が作成、食材は施設ごとに配達され、施設内キッチンで職員が3食とも作る。嚥下状態に応じ刻み食、再炊き、トロミ使用など食事全介助の入居者にも安全に摂取して頂けるよう支援されている。コロナ禍の為利用者は食器拭きのみ手伝い、やりがいとなっている。給食部からのおせち料理や施設で作る誕生日ケーキ、手作りおやつ等、食べる事が楽しみになるよう支援されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに応じた食事量や水分量を医師に相談し、適切な指示を受け提供している。	一人ひとりに応じた食事量や水分量を医師に相談し、適切な指示を受け提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア、義歯洗浄を行っている。週1回の歯科訪問診療にて必要時治療を行っている。	毎食後の口腔ケア、義歯洗浄を行っている。週1回の歯科訪問診療にて必要時治療を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作成し、排泄パターンの把握を行い、個々の排泄時間で声掛けしトイレ使用を促している。	排泄チェック表を作成し、排泄パターンの把握を行い、個々の排泄時間で声掛けしトイレ使用を促している。	排泄チェック表の作成により個々の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を心掛けている。夜間ポータブルトイレ使用の方にはセンサーを使用し安全な排泄とパット使用量の軽減に努め家族の負担軽減も考慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量、食事をチェックし便秘の方には腹部マッサージ、体操などの支援を行っている。	水分量、食事をチェックし便秘の方には腹部マッサージ、体操などの支援を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的な流れはあるが、入浴順番などその時の気分に応じて時間をずらしている。入浴を楽しめるよう個々に沿った支援を行っている。	基本的な流れはあるが、入浴順番などその時の気分に応じて時間をずらしている。入浴を楽しめるよう個々に沿った支援を行っている。	浴室は毎日準備し入浴表はあるが、利用者の気分に変更される事もある。ゆっくりコミュニケーションを図りながら入浴出来るよう午前中週3回の入浴を基本としている。失禁時等必要に応じその都度対応し清潔に暮らせるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの就寝時間を配慮し、職員の都合で臥床させないように心がけている。日中も自室に戻り休まれたりテレビを視聴されたり可能な限り自由に過ごして頂いている。	一人ひとりの就寝時間を配慮し、職員の都合で臥床させないように心がけている。日中も自室に戻り休まれたりテレビを視聴されたり可能な限り自由に過ごして頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	週一回の居宅管理指導にて、個々の服薬の相談や指導を受け全スタッフと共有している。また薬について細かな申し送りを行いスタッフの理解度の向上を図り支援と変化に対応できるようにしている。	週一回の居宅管理指導にて、個々の服薬の相談や指導を受け全スタッフと共有している。また薬について細かな申し送りを行いスタッフの理解度の向上を図り支援と変化に対応できるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	集団、個別レクを通して生活の中にメリハリがもて、気分転換ができるように支援している。	集団、個別レクを通して生活の中にメリハリがもて、気分転換ができるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気候に応じて園庭での外気浴や散歩、野外でのレクリエーションを行っている。又季節に応じて外出レクを行い、気分転換やストレスの発散に努めている。	気候に応じて園庭での外気浴や散歩、野外でのレクリエーションを行っている。又季節に応じて外出レクを行い、気分転換やストレスの発散に努めている。	コロナ禍の為、本人や家族の希望に沿って外出するのは難しいが、春先に車窓ドライブを実施し入居者の笑顔が見られ気分転換に繋がった。気候を見ながら広い芝生の園庭でおやつを食べたり芝生の上を散歩したり気分転換やストレス発散に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の金銭所持は原則行っていないが、必要なものに関してはご家族の了解を得て購入を行っている。	ご本人の金銭所持は原則行っていないが、必要なものに関してはご家族の了解を得て購入を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族や本人様が希望されるのであれば携帯電話でのやりとりが出来るよう支援を行っている。	ご家族や本人様が希望されるのであれば携帯電話でのやりとりが出来るよう支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には、季節ごとの装飾品などを置いている。穏やかに過ごして頂くような音楽を流したり、良い空間作りを行っている。施設内、特にトイレなど不快な臭いがしないよう心掛けている。	共有空間には、季節ごとの装飾品などを置いている。穏やかに過ごして頂くような音楽を流したり、良い空間作りを行っている。施設内、特にトイレなど不快な臭いがしないよう心掛けている。	ホールには季節ごとの飾り付けがされ、利用者の好きな音楽が流れている。今年は入居者のみで夏祭りを行い、季節を感じてもらおう事が出来た。コロナ禍の為毎日手すり等施設内の消毒を行い、1日2回窓を開け換気を行うなど安心、安全な生活空間を提供している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール内にソファを設置し、利用者同士が会話しやすい環境を設けている。	ホール内にソファを設置し、利用者同士が会話しやすい環境を設けている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自室には馴染みの物やご家族の写真などを置き、いつでも懐かしさや思い出を忘れずに、一人ひとりにとって安心できる環境づくりを行っている。	自室には馴染みの物やご家族の写真などを置き、いつでも懐かしさや思い出を忘れずに、一人ひとりにとって安心できる環境づくりを行っている。	利用者が自室と分かるよう名前を表示し、居室には馴染みの物や写真等が飾ってある。位牌を持参されている入居者もあり、自宅に居た頃のように毎日お茶・水等供えられている。昼食後にはそれぞれ1時間ほど午睡されゆっくりと心地よく過ごす事が出来ている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホール内の障害物や座席の配置や家具のレイアウトを都度見直し、安全で自立した生活が送れるよう支援している。	ホール内の障害物や座席の配置や家具のレイアウトを都度見直し、安全で自立した生活が送れるよう支援している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない